

令和6年度第2回大船渡市学校支援活動運営委員会

日 時：令和6年11月26日（火）午後3時

場 所：大船渡市役所 第一会議室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 協 議

協議第1号 令和6年度大船渡市地域学校協働本部事業の実施状況について

4 そ の 他

5 閉 会

大船渡市学校支援活動運営委員会委員名簿

任期：令和5年6月7日～令和7年3月31日

役 職	氏 名	区 分	所属等	任 用
委員長	高 橋 多鶴子	学校教育関係者	日頃市小学校長	新任
副委員長	紀 室 浩	学識経験者	元末崎小学校教諭	新任
委員	高 橋 昭 英	学校教育関係者	大船渡中学校副校長	新任
委員	梅 澤 聖 史	社会教育関係者	末崎小学校 PTA 会長	新任
委員	菅 原 優 子	家庭教育関係者	前海の星幼稚園園長	新任

協議第 1 号 令和 6 年度大船渡市地域学校協働本部事業の実施状況について

令和 6 年度大船渡市地域学校協働本部事業の実施状況について、大船渡市学校支援活動運営委員会設置要綱第 2 第 2 項の規定に基づき、意見を求めます。

令和 6 年 11 月 26 日

大船渡市学校支援活動運営委員会
委員長 高 橋 多鶴子

令和6年度家庭教育学級アンケート集計結果（令和6年10月31日現在）

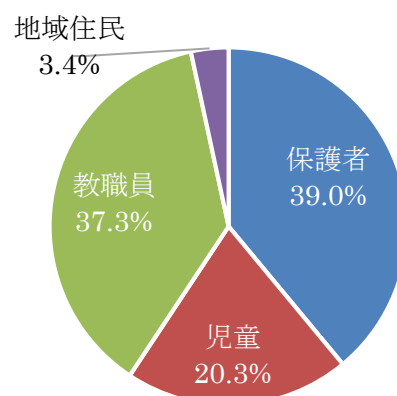
○実施場所 小学校、中学校区 2カ所（実施状況一覧のとおり）

○参加人数 59人（うち保護者23人）

○アンケート回収数 41件（回収率87.2%）※園児・児童・生徒はアンケート対象外

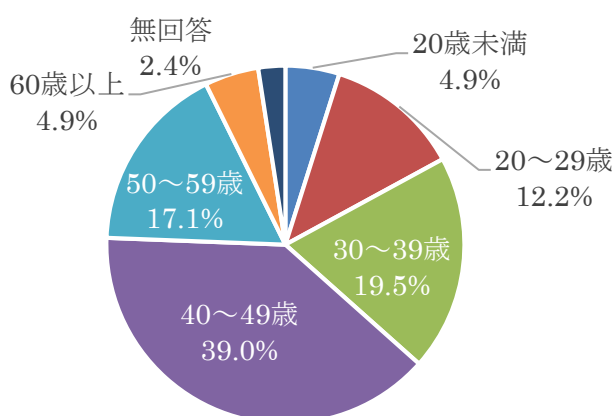
成果指標	目標	実績	達成率
学習内容の満足度	80.0%	97.5%	121.8%
1カ所あたりの 前年度比参加人数 R5：49.2人 (443人/9カ所)	前年度比 同数以上	29.5人 (59人/ 2カ所)	59.9%
学習内容の家庭の 取組意欲	80.0%	92.7%	115.9%
学習内容の理解度	80.0%	92.7%	115.9%

参加者内訳	年代	人数	比率
	保護者	23	39.0%
	園児・児童・生徒	12	20.3%
	教職員	22	37.3%
	地域関係者	2	3.4%
	計	59	100.0%



Q1. 参加者の年齢

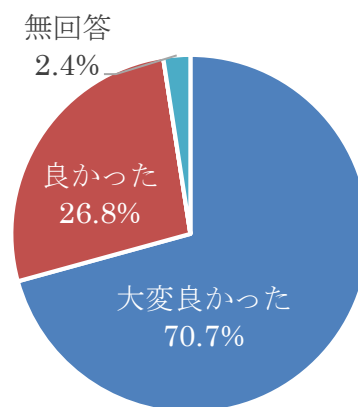
年代	人数	比率
20歳未満	2	4.9%
20～29歳	5	12.2%
30～39歳	8	19.5%
40～49歳	16	39.0%
50～59歳	7	17.1%
60歳以上	2	4.9%
無回答	1	2.4%
計	41	100.0%



30～50代の参加が多かった。

Q 2. 学級に参加した感想（満足度）

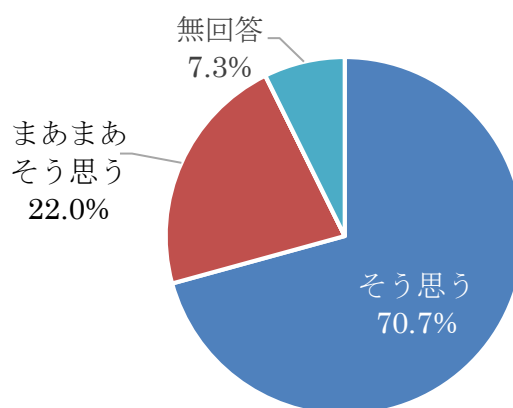
評価	人数	比率
大変良かった	29	70.7%
良かった	11	26.8%
やや良くなかった	0	0.0%
良くなかった	0	0.0%
無回答	1	2.4%
計	41	100.0%



大多数の人が「大変良かった」「良かった」と回答している。

Q 3. 学習内容への取組意欲

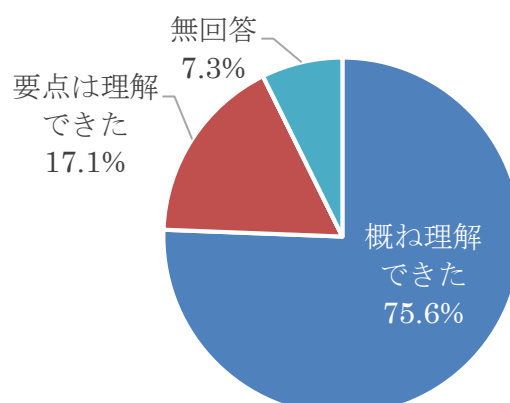
取組意欲	人数	比率
そう思う	29	70.7%
まあまあそう思う	9	22.0%
あまり思わない	0	0.0%
思わない	0	0.0%
無回答	3	7.3%
計	41	100.0%



今回の学習内容について、92.7%の人が家庭で取り組む意欲があると回答している。

Q 4. 内容の理解度

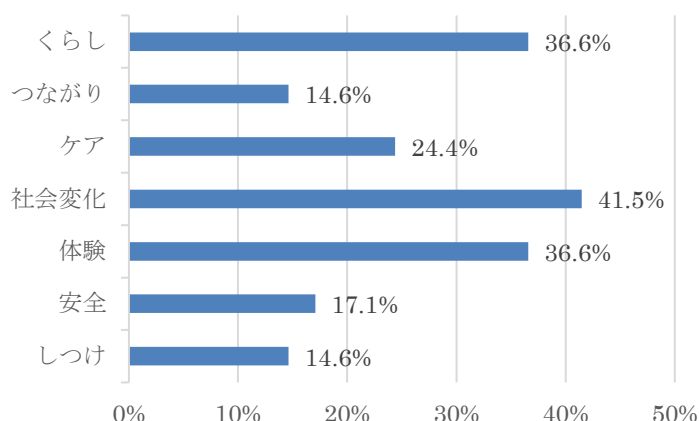
理解度	人数	比率
概ね理解できた	31	75.6%
要点は理解できた	7	17.1%
よく理解できなかった	0	0.0%
全く理解できなかった	0	0.0%
無回答	3	7.3%
計	41	100.0%



92.7%の人が学習内容を理解できたと回答している。

Q 5. 家庭教育学級で希望するテーマ（複数回答可）

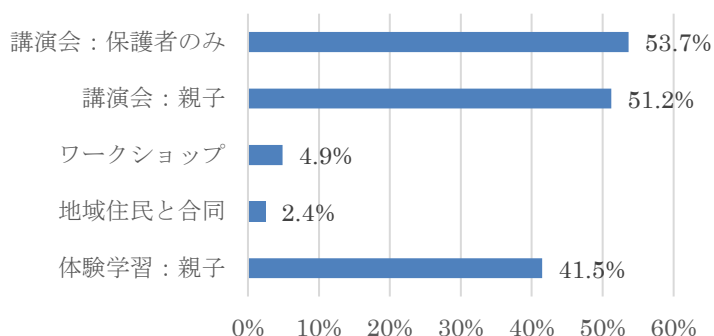
希望テーマ	人数	比率
暮らし	15	36.6%
つながり	6	14.6%
ケア	10	24.4%
社会変化	17	41.5%
体験	15	36.6%
安全	7	17.1%
しつけ	6	14.6%



生活習慣や健康管理等の暮らし、スマホやSNS等の社会変化、スポーツや文化等の体験をテーマにした内容を希望する声が多い。

Q 6. 家庭教育学級で希望する学習形態

学習形態	人数	比率
講演会：保護者のみ	22	53.7%
講演会：親子	21	51.2%
ワークショップ	2	4.9%
地域住民と合同	1	2.4%
体験学習：親子	17	41.5%



保護者のみの講演会や親子での講演会・体験学習を希望する回答が多い。

※ 端数処理により比率の計が 100%にならない場合があります。

Q 7. 自由記載(抜粋)

(1) ストレッチでケガをしない身体づくり

- ・参加できなかった方が残念でした。無理なくいい体験だったと思います。親子で触れ合う体操も良かったです。(子どもたちが、喜んでいる姿を見ました。)
- ・私自身も子どももPCやスマホにより首を中心に姿勢が悪いので何かほかにストレッチがあるなら知りたいと思った。産後から数年たっているが、腰や骨盤の調子も悪いので、もっと自分の身体をリラックスできるような運動に取り組みたいと思った。
- ・久しぶりにじっくり体を動かし、リラックスすることができました。前と後では体の柔らかさが違ってびっくりしました。家でも子どもとやってみようと思います。今日はありがとうございました。
- ・子どもと一緒にストレッチができて良かった。子どもがあまり得意ではないかと思っていたが、親がやっているのを見て楽しんでいるみたいだった。

- ・無理なく体を動かす方法を教えていただいたので生活に取り入れて実践していきたい。
- ・とても体がかたいので今日学習したことをこれから実行していきたいと思います。
- ・久しぶりに体をほぐした時間でした。ストレッチ、続けてみようと思います。
- ・なかなかできない良い体験だったと思いました。子どもと一緒に参加できる内容が良かったと思いました。
- ・約1時間で体がやわらかくなったことにびっくりでした。親子で取り組めるので、家でも続けたいと思いました。
- ・体も心もほぐれて気持ちよかったです。ありがとうございました！！
- ・ストレッチの仕方が分かりました。
- ・子どもたちと楽しく触れ合えて良かったです。
- ・とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・とてもリラックスできる時間でした。

(2) ゲーム・メディアの身体に与える影響

- ・沢山の保護者に聞いてほしかったなと思いました。
- ・子供の立場を含めたお話で、すごく学びになった。
- ・参加できてとても良かったです。
- ・依存症の定義を聞いて良かった。普段関わっている依存症は、数値やぱっと見では判断できなく難しい。わかりやすい定義ですって頭に入れられた。
- ・依存になる一番の原因はその子の心に何か問題が生じたという事を知れて、一概にゲームが悪いという事ではないと理解しました。
- ・上手くつきあっていければいいなと思う。大きな声でダメと言う前に、「なにをしたの？」の気持ちを大切にしたい。
- ・貴重なお話ありがとうございました。家庭でも実際に試してみたいと思います。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・時間が足りず残念でした。(同内容ほか1名)
- ・内容、スライドは良いが時間配分が良くなかった。後半、端折ったところをしっかりと聞きたかったです。
- ・子育てに関連するお話を聞きたい。情報量が多いと思いました。
- ・創作の必要性。

令和6年度家庭教育学級実施状況一覧表(令和6年10月31日現在)

	学校名等	実施日	学習内容	講師	アンケート 対象者数	アンケート 回収件数	アンケート 回収率	場所	時間
幼・保	明和保育園	12月7日(土)	ストレッチでケガをしない身体づくり	大船渡バレエ教室 中村 愛 氏				明和保育園	10:00～10:45
	いかわこども園	2月6日(木)	おなかげんききょうしつ	大船渡ヤクルト 木下 理映 氏				いかわこども園	10:00～10:50
	立根こども園	2月18日(火)	親子でイングリッシュ	佐藤英会話 佐藤 利恵 氏				立根こども園	9:30～10:30
	越喜来こども園	11月14日(木)	おなかげんききょうしつ	大船渡ヤクルト 木下 理映 氏				越喜来こども園	15:00～15:45
— 中学区	盛小学校	9月3日(火)	ストレッチでケガをしない身体づくり	大船渡バレエ教室 中村 愛 氏	31人	19件	61.3%	盛小学校	14:20～15:20
	日頃市小学校	11月22日(金)	日頃市の歴史(仮)	座・ひころいち世話人 佐藤 善士 氏				日頃市小学校	15:00～15:45
	第一中学校	12月4日(水)	食育講話	健康推進課職員				第一中学校	13:40～15:30
未 崎 中 学 校 区	☆未崎小学校	10月1日(火)	ゲーム・メディアの身体に与える影響	沿岸南部教育事務所 エリア型スクールカウンセラー 千葉 崇弘 氏	28人	22人	78.6%	未崎中学校	18:30～20:00
	未崎中学校								

令和 6 年度 家庭教育学級講座写真

1 盛小学校



2 末崎中学校区(末崎小学校、末崎中学校)



令和6年度家庭教育学級「英語体験教室」事業一覧表（令和6年10月31日現在）

	実施日	学習内容	講師	定員	参加者数	場所
1	6月22日(土) ①未就学児 9:30~10:30 ②小学校1~2年生 11:00~正午	英語に触れる活動(英会話・ゲーム・歌・ぬりえなど)	佐藤英会話 佐藤 利恵 氏 エミリー・チャドウィック氏	20組 40人 (①10組 20人、 ②10組 20人)	18組 37人 (①10組 20人、 ②8組 17人)	カメラリア ホール 多目的 ホール
2	11月23日(土) ①未就学児(年中) 9:30~10:30 ②未就学児(年長) 11:00~正午	英語に触れる活動(英会話・ゲーム・歌・ぬりえなど)	佐藤英会話 佐藤 利恵 氏 エミリー・チャドウィック氏	20組 40人 (①10組 20人、 ②10組 20人)		カメラリア ホール 多目的 ホール

令和6年度家庭教育学級「英語体験教室」アンケート集計結果（令和6年10月31日現在）

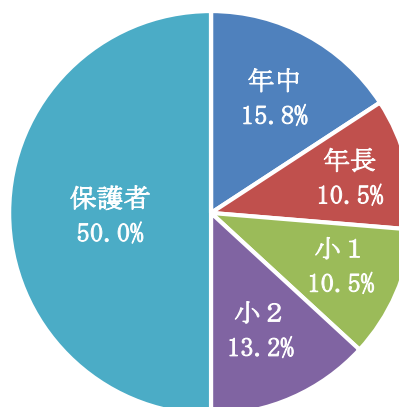
成果指標(全2回中1回の値)	目標	実績	達成率	○事業参加者数 37人 ○アンケート回収数 37通 (回収率 100%) ○講座内訳 第1回 参加 18組 37人 (定員 20組 40人)
定員に対する参加率	80.0%	92.5%	115.6%	
参加者のうち「新しくやりたいことがみつかった」「自分でできることがふえた」「アイデアを考えたり、工夫したりできた」と回答した参加者の割合	50.0%	57.9%	115.8%	
「自分から進んで取り組むことができた」「自分から進んで取り組むことがまあまあできた」と回答した参加者の割合	80.0%	94.7%	118.4%	

【総括】

- ・ 昨年度から委託先の講師が変更になったため、リピーターに対しても新鮮な講座を提供することができた。
- ・ 定員に対する参加率は92.5%で、目標の80.0%を上回り、さらに未就学児の申込者数が定員の倍以上となった。なお、未就学児については、人気が高く、多くの落選者が出たことから、第2回目(11/23開催)の英語体験教室では第1回目の落選者に参加する機会を提供する。
- ・ アンケート結果による保護者の参加理由については、「(子どもが)英語に興味を持っているから」が最も多く、次いで「生きた英語を学ぶ良い機会だから」となり、英語への関心の高さが伺えた。
- ・ アンケート結果による子ども、保護者の感想は、「とてもよかった」「よかった」と回答した人が100%となり、親子共に満足いただけた講座となった。また、「自分から進んで取り組むことができたか」の問いに対し、「できた」「まあまあできた」と回答した人は94.7%となり、昨年度の88.7%を大きく上回る結果となった。
- ・ アンケート結果に基づく全体的な評価として、市民の学習ニーズに合致した魅力ある教室を開催できたと考える。

Q 1. 参加者の学年

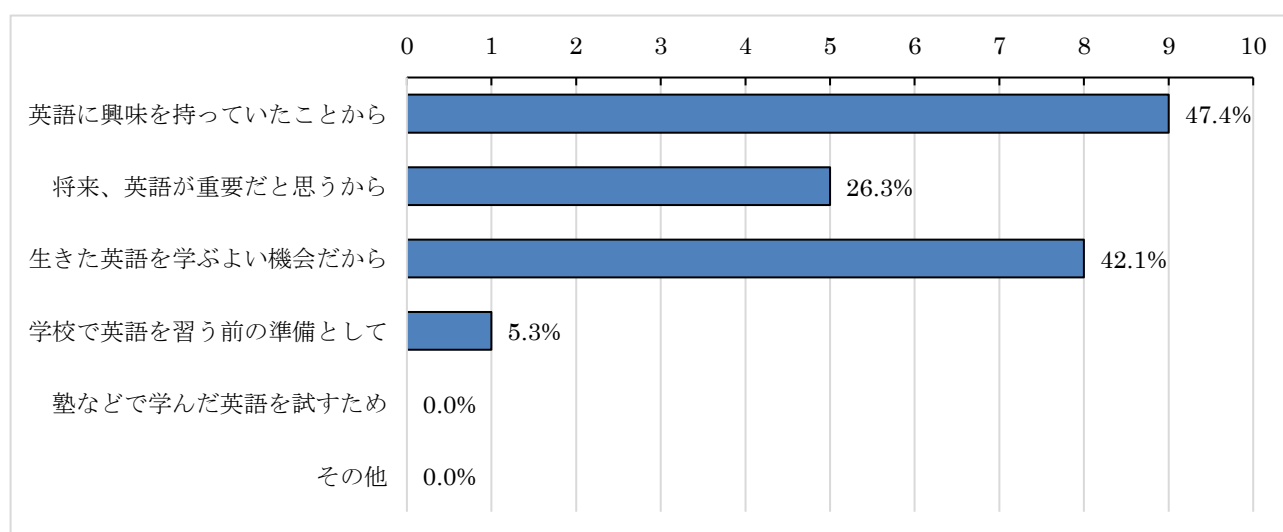
項目	人数	比率
年中	6	15.8%
年長	4	10.5%
小1	4	10.5%
小2	5	13.2%
保護者	16	50.0%
無回答	0	0.0%
計	35	100.0%



子どもの参加者は年中児が最も多く、次いで小学校2年生となった。

Q 2. 参加理由（保護者回答・複数回答）回答者数 19 人

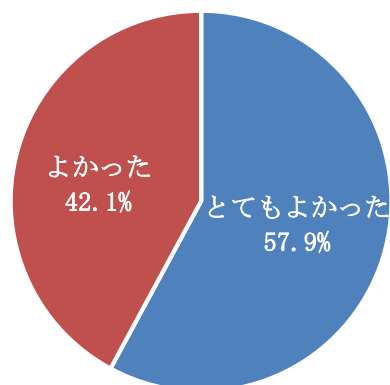
項目	人数	比率
英語に興味を持っていたことから	9	47.4%
将来、英語が重要だと思うから	5	26.3%
生きた英語を学ぶよい機会だから	8	42.1%
学校で英語を習う前の準備として	1	5.3%
塾などで学んだ英語を試すため	0	0.0%
その他	0	0.0%
計	23	—



保護者からの回答で最も多いのは、「英語に興味を持っているから」で、次いで「生きた英語を学ぶよい機会だから」となった。

Q 3. 講座の感想(子ども回答)

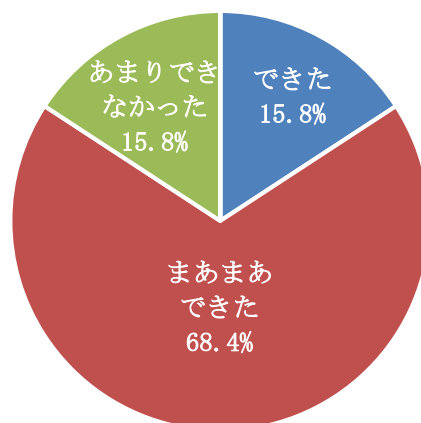
項目	人数	比率
とてもよかった	11	57.9%
よかった	8	42.1%
あまりよくなかった	0	0.0%
よくなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	19	100.0%



全ての参加者から「とてもよかった」又は「よかった」と回答いただき、満足度が高い結果となった。

Q 4. 学習意欲(保護者回答)

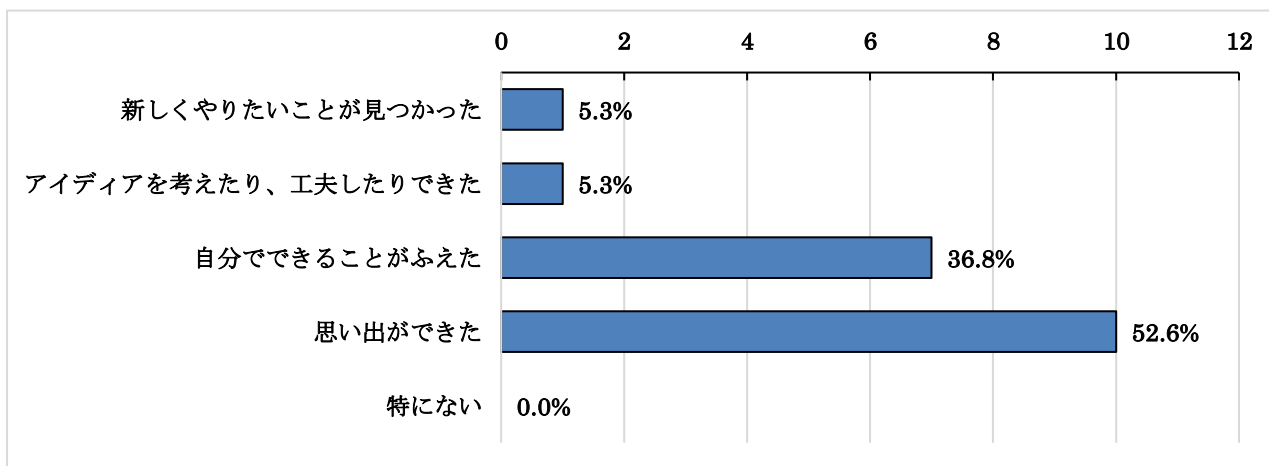
項目	人数	比率
意欲的に取り組むことができた	3	15.8%
意欲的に取り組むことがまあまあできた	13	68.4%
意欲的に取り組むことがあまりできなかった	3	15.8%
意欲的に取り組むことができなかった	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	19	100.0%



「意欲的に取り組むことができた」、「意欲的に取り組むことがまあまあできた」と回答した人の割合が83%となり、目標値の80%を上回った。

Q 5. 講座に参加したことによる変化（保護者回答・複数回答） 回答者数 19 人

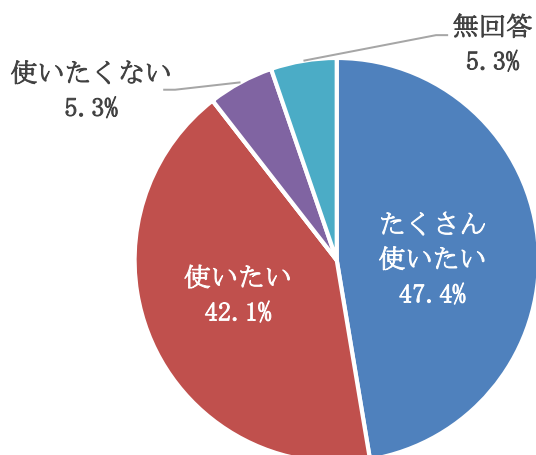
項目	人数	比率
新しくやりたいことが見つかった	1	5.3%
アイデアを考えたり、工夫したりできた	1	5.3%
自分でできることがふえた	7	36.8%
思い出ができた	10	52.6%
特にない	0	0.0%
計	19	—



「思い出ができた」が半数を占め、次いで「自分でできることが増えた」となった。「新しくやりたいことが見つかった」「アイデアを考えたり、工夫したりできた」については、時代を生き抜くための創造力や自主性の育成に必要な要素となっていることから、今後はこの項目を選択する人の割合が増えることが望ましい。

Q 6. 英語の使用（子ども回答）

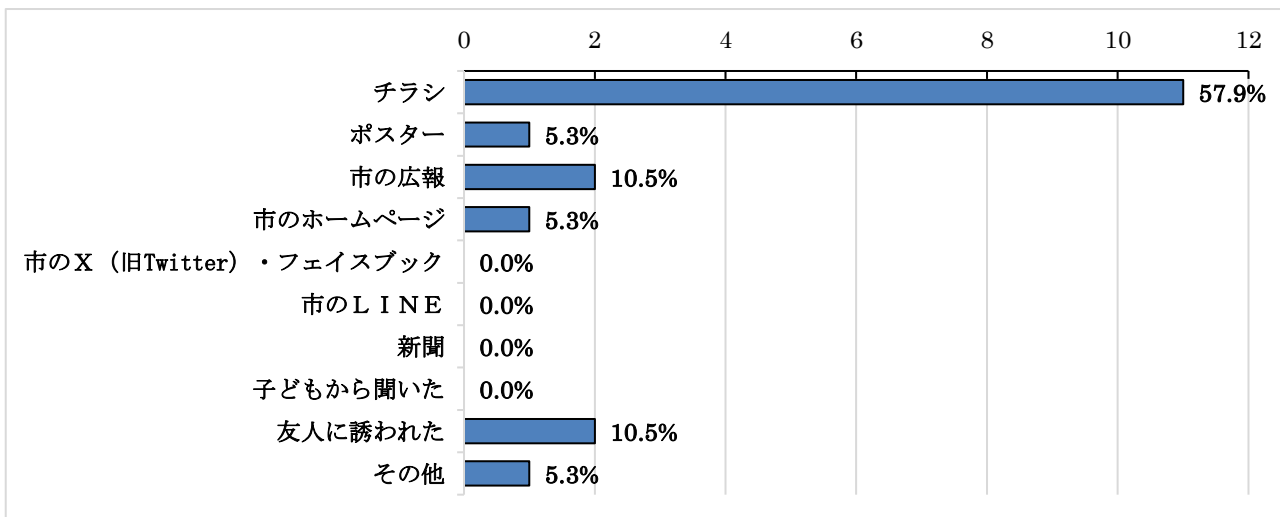
項目	人数	比率
たくさん使いたい	9	47.4%
使いたい	8	42.1%
あまり使いたくない	0	0.0%
使いたくない	1	5.3%
無回答	1	5.3%
計	19	100.0%



「たくさん使いたい」「使いたい」と回答した子どもの割合が9割を超えた。英語に対する興味の表れと考えられる。

Q 7. 講座を何で知ったか(保護者回答・複数回答)回答者数 19 人

項目	人数	比率
チラシ	11	57.9%
ポスター	1	5.3%
市の広報	2	10.5%
市のホームページ	1	5.3%
市のX（旧Twitter）・フェイスブック	0	0.0%
市のLINE	0	0.0%
新聞	0	0.0%
子どもから聞いた	0	0.0%
友人に誘われた	2	10.5%
その他	1	5.3%
計	18	—

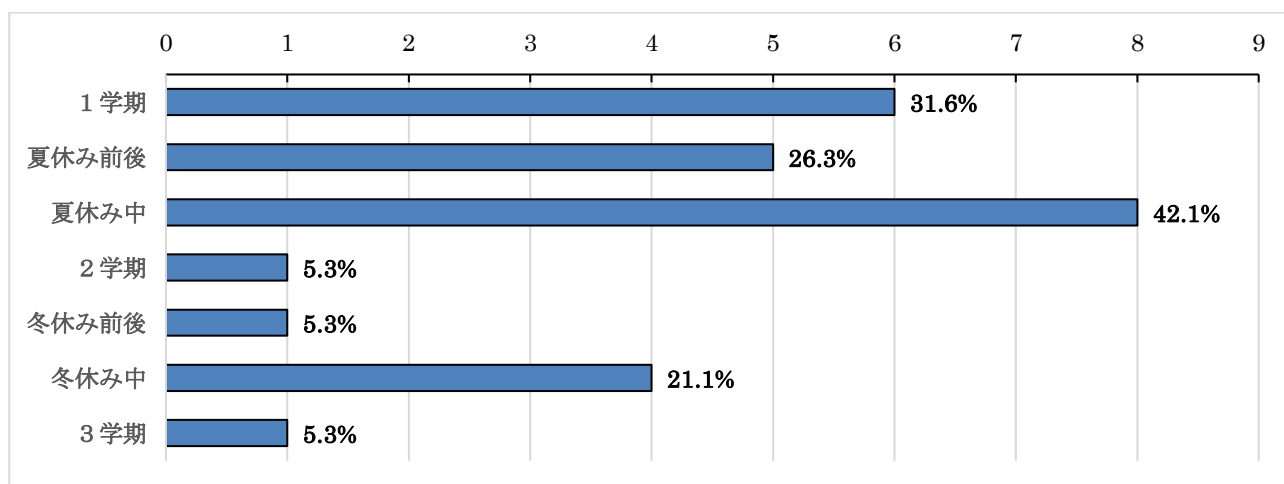


市内の小中学校を通じて、対象園児、児童全員にチラシを配布した効果大きい。
次年度以降も継続して進めていきたい。

Q 8. 講座に参加しやすい時期（保護者回答・複数回答）回答者数 19 人

【あてはまるものは全て選ぶ】教室に参加しやすい時期を教えてください。

項目	人数	比率
1 学期	6	31.6%
夏休み前後	5	26.3%
夏休み中	8	42.1%
2 学期	1	5.3%
冬休み前後	1	5.3%
冬休み中	4	21.1%
3 学期	1	5.3%
計	26	—



比較的参加しやすいと思われる「夏休み中」の割合が最も高かった。

Q 9. 自由記載欄 抜粋 (保護者からの回答も含む)

(1) 子ども

- ・とても楽しかったです。エミリー先生と利恵先生に会えて良かったです。(小2)
- ・楽しかった。(小1)
- ・去年も年長で参加させていただき、今年もとても楽しかったです。(小1)
- ・これからも英語を使いたいので、とても良かった。(年長)
- ・覚えられて良かった。(小2)
- ・前から興味があったので、体験できて良かった。(年中)
- ・英語を知れて、アメリカやカナダなどに行ってみたいです。(小2)
- ・前回、Head, Shoulders, Knees and Toes の歌をやったので、また歌いたいです。(年長)
- ・家でもいっぱい英語を使いたい。(小2)
- ・英語でゲームしたいです。(小1)
- ・(ほかにやりたいこととして) ゲーム。(小1)

(2) 保護者

- ・最初もじもじして話せなかったが、慣れてきて楽しそうにして良かった。(年中保護者)
- ・頑張っている姿が見れました。(年中保護者)
- ・英語に興味が出てきたので、このようなイベントがあればまた参加したいです。(年長保護者)
- ・家の中でも英語を一緒に使ってみたい。(小2保護者)
- ・どんどん参加できるゲームがあったらやってみたい。(小1保護者)
- ・英語を子どもと学ぼうと思いました。(小2保護者)
- ・継続して参加できると嬉しいです。(小2保護者)
- ・講師2人の進行がスムーズでなかった。お絵描きする時間がもったいなかった。講師と英語でしゃべる時間をもう少し設けてほしかった。(年長保護者)

令和6年度家庭教育学級（英語スクール）「第1回英語体験教室」講座写真



令和6年度青少年体験学習事業事業一覧表（令和6年10月31日現在）

	実施日	学習内容	講師	定員	参加者数	場所
1	7月6日（土） ①10：00～ ②13：00～	ステンドグラス 制作体験教室	アトリエガラス 鈴木 摩耶子 氏 鈴木 道也 氏	5組 20人 ①午前：5組 10人 ②午後：5組 10人	9組 19人 ①午前：4組 9人 ②午後：5組 10人	三陸公民館
2	9月1日（日） 10：00～	おやこ科学 教室	明治大学理工学部 本多 貴之 准教授	20組 40人	12組 30人	カメリア ホール

令和6年度青少年体験学習事業アンケート集計結果（令和6年10月31日現在）

成果指標(全2回の合計値)	目標	実績	達成率	○事業参加者数 49人 ○アンケート回収数 49通 (回収率 100%)
定員に対する参加率	80.0%	85.0%	106.3%	
参加者のうち「新しくやりたいことがみつかった」「自分でできることがふえた」「アイデアを考えたり、工夫」と回答した参加者の割合	50.0%	122.5%	245.0%	
「自分から進んで取り組むことができた」「自分から進んで取り組むことがまあまあできた」と回答した参加者の割合	80.0%	100.0%	125.0%	

【総括】

・本事業の目的に従い、学校や家庭では体験する機会のないテーマを選んだが、そのことについて「良かった」という参加者の声が多くあり、本事業の目的を達成することができたものと考えられる。

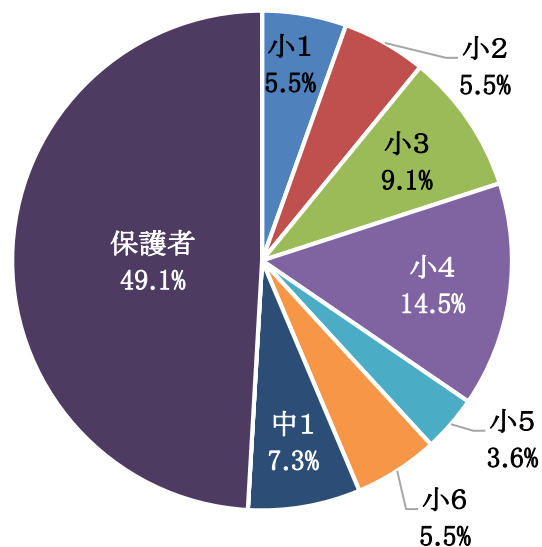
また、いずれの事業も講師のきめ細やかな指導により、全員が作品を完成させることができ、参加者全員に満足いただける講座となった。

・アンケート結果による参加者の感想は、「とてもよかった」「よかった」と回答した人が100%となり、全員に満足いただけた講座となった。また、子どもへの「自分から進んで取り組むことができたか」、保護者への「子どもが意欲的に取り組むことができたか」の問いに対しても「できた」「まあまあできた」と回答した人は100%となり、学校や家庭では体験できない分野の体験機会を十分に提供できたものと窺える。

・学習前後の変化として、「新しくやりたいことがみつかった」「アイデアを考えたり工夫したりできた」「自分でできることが増えた」の回答を選択(複数回答)した子どもの割合は両事業とも非常に高く、また、おやこ科学教室のアンケートでは、科学への興味を持ったとの回答が多くあり、事業目的に沿った講座を実施することができたと言える。

Q 1. 参加者の学年

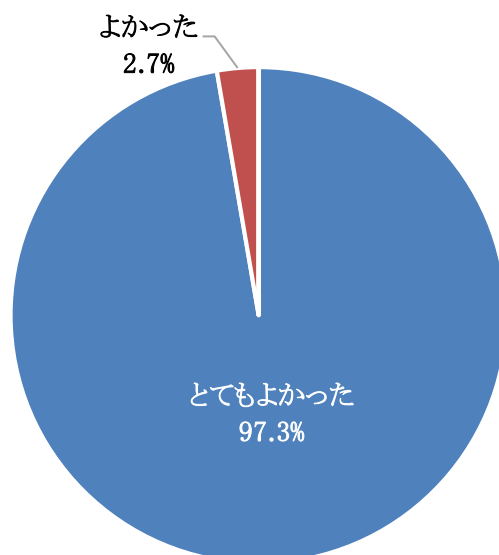
項目	ステンドグラス	科学教室	比率
小1	0	3	5.5%
小2	0	3	5.5%
小3	0	5	9.1%
小4	6	2	14.5%
小5	1	1	3.6%
小6	2	1	5.5%
中1	1	3	7.3%
中2	0	0	0.0%
中3	0	0	0.0%
保護者	9	18	49.1%
無回答	0	0	0.0%
計	19	36	100.0%



小中学生及び保護者を対象に参加者の募集を行ったが、参加者の多くは小学生中・高学年となった。中学生は昨年度から1人増えて4人の参加となった。最終学年（中3）の参加は難しいと思われるが、引き続き中学生の学習ニーズと合致した体験学習も提供できるよう努めたい。

Q 2. 講座の感想

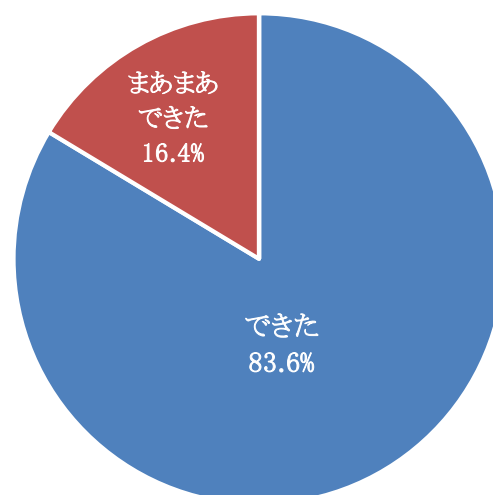
項目	ステンドグラス	科学教室	比率
とてもよかった	18	18	97.3%
よかった	1	0	2.7%
あまりよくなかった	0	0	0.0%
よくなかった	0	0	0.0%
無回答	0	0	0.0%
計	19	18	100.0%



参加者（保護者、子ども）の9割以上が「とてもよかった」と回答しており、満足度が高い結果となった。来年度以降も同様の成果が出せるよう学習内容を検討したい。

Q 3. 学習意欲

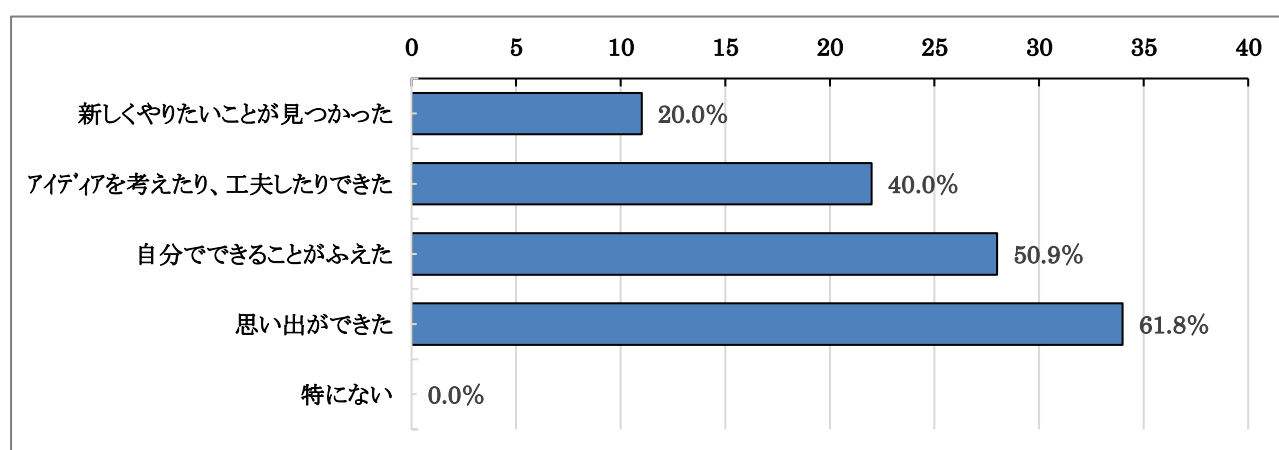
項目	स्टudent'グラス	科学教室	比率
意欲的に取り組むことができた	16	30	83.6%
意欲的に取り組むことがまあまあできた	3	6	16.4%
意欲的に取り組むことがあまりできなかった	0	0	0.0%
意欲的に取り組むことができなかった	0	0	0.0%
無回答	0	0	0.0%
計	19	36	100.0%



「意欲的に取り組むことができた」「意欲的に取り組むことがまあまあできた」と回答した参加者の割合が100%となり、目標値である80%を上回ることができた。

Q 4. 講座に参加したことによる変化（複数回答）

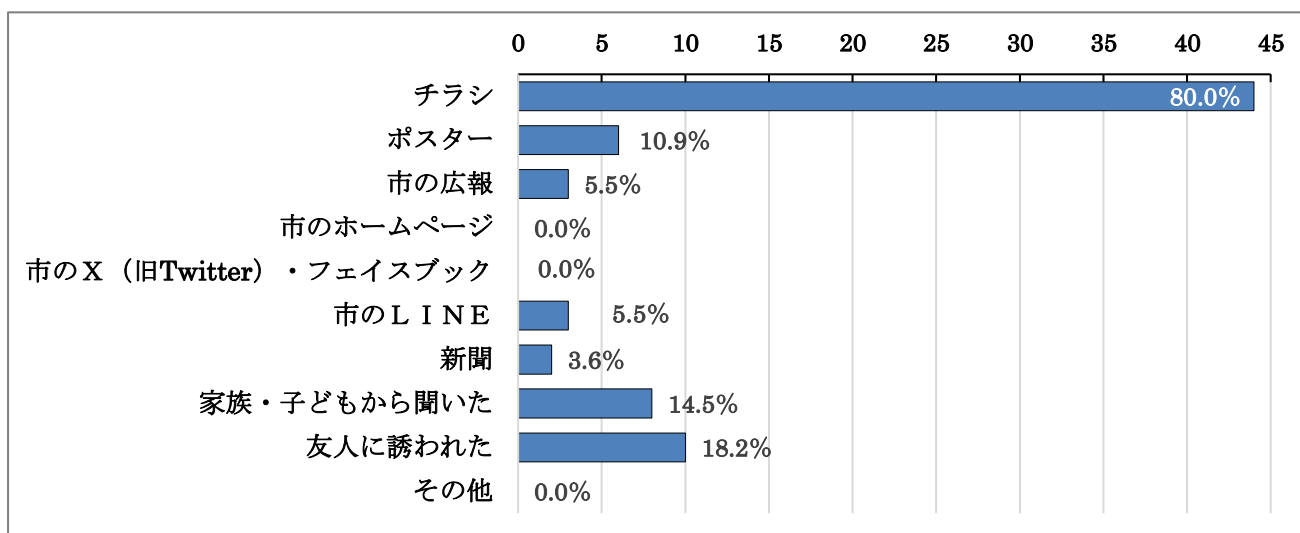
項目	student'グラス	科学教室	比率
新しくやりたいことが見つかった	4	7	20.0%
アイデアを考えたり、工夫したりできた	10	12	40.0%
自分でできることがふえた	13	15	50.9%
思い出ができた	15	19	61.8%
特にない	0	0	0.0%
計	42	53	—



最も選択回答の数が多かった項目は「思い出ができた」であったが、「アイデアを考えたり、工夫したりできた」「自分でできることがふえた」の選択した割合も高くなった。いずれもの項目もこれからの時代を生き抜くための創造力や自主性の育成に必要な要素となるが、それらの項目を一定数の参加者が選択したことは、本事業の成果が表れたものと考えられる。

Q 5. 講座を知った媒体(複数回答)

項目	ステンドグラス	科学教室	比率
チラシ	18	26	80.0%
ポスター	2	4	10.9%
市の広報	1	2	5.5%
市のホームページ	0	0	0.0%
市のX（旧Twitter）・フェイスブック	0	0	0.0%
市のLINE	2	1	5.5%
新聞	0	2	3.6%
家族・子どもから聞いた	1	7	14.5%
友人に誘われた	1	9	18.2%
その他	0	0	0.0%
計	25	51	—

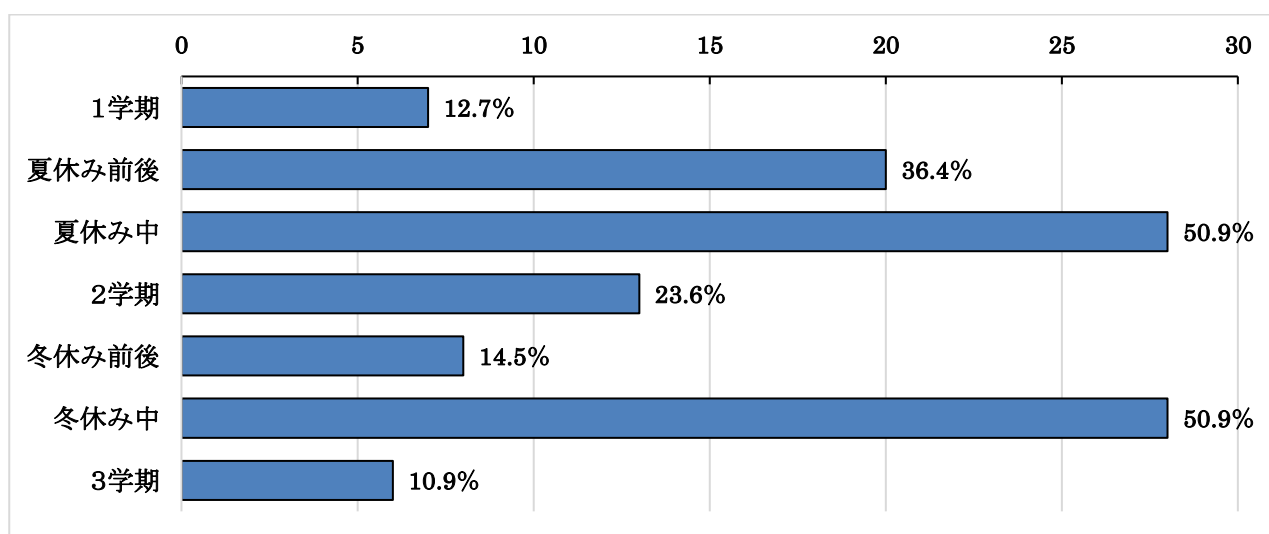


市内の小中学校を通じて、対象児童生徒全員にチラシを配布したことから、多くの参加者が「チラシ」を見ての応募であった。

また、割合としてはまだ低いもののSNSによる情報発信については今後も継続して実施していきたい。

Q 6. 講座に参加しやすい時期（複数回答）

項目	STEMクラス	科学教室	比率
1 学期	4	3	12.7%
夏休み前後	9	11	36.4%
夏休み中	10	18	50.9%
2 学期	4	9	23.6%
冬休み前後	1	7	14.5%
冬休み中	6	22	50.9%
3 学期	0	6	10.9%
計	34	76	—



半数以上が「夏休み中」や「冬休み中」の長期休み中を希望している。実施時期や学習内容などの調査結果を踏まえて、計画の立案に努めたい。

Q 7. 自由記載欄 抜粋 (保護者からの回答も含む)

(1) 子ども

- ・ ステンドグラス作りができて良かった。楽しかった。(小4)
- ・ 楽しかった。(小5)
- ・ カレンダーを作りたい。(小5)
- ・ とても楽しかったです。良い思い出になりました。(小6)
- ・ とてもよくできたので良かった。(小6)
- ・ 難しかったけど、うまくできて良かったです。(小6)
- ・ とても楽しかったので、また参加したい。(小6)
- ・ スマホにつけるストラップみたいなを作りたい。(中1)
- ・ 普段できないことをしたりして、ステンドグラスを作ることができたし、楽しかったので良かったです。(中2)
- ・ 珍しいことができたし、楽しかった。このような物作りをすることがあればまたやりたい。(中2)

(2) 保護者

- ・ 自身がステンドグラスが好きなので、行程を知れて嬉しかった。本人も意欲的に取り組み楽しんでいて、親子の良い時間となった。(小4保護者)
- ・ 日頃、体験できないことをできて良かったです。親子のコミュニケーションにもなるし、いつもゲームばかりになっているお休みの日に、このようなすばらしい時間の使い方ができて嬉しいです。(小5保護者)
- ・ 工作が好きなので、とても楽しそうに取り組んでいた。(ほかにやりたいこととして) 田植え。イモ掘り。(小5保護者)
- ・ 普段できない貴重な体験ができました。またやってみたいと話していました。本日はありがとうございました。(小6保護者)
- ・ ていねいに教えていただき、分かりやすかったです。作品もきれいにできて良かったです。ありがとうございました。(小6保護者)
- ・ 普段から思いつきで作業するところが今日も出ていたようで、難しい作業もパパッと決めて作っているところが面白かったです。ていねいに教えていただき、貴重な体験をありがとうございました。(小6保護者)
- ・ はじめてはんだごてを使えて楽しかったです。(小6保護者)
- ・ ステンドグラス制作、はんだ付けが難しかったけど、楽しく制作できました。(中1保護者)
- ・ パパッと決める妹と違い、先生の話聞きつつ、慎重にやっているようでした。ていねいに教えていただき、不器用ながらも上手に出来上がりました。楽しい時間をありがとうございました。(中2保護者)

令和6年度青少年体験学習事業「ステンドグラス制作体験教室」講座写真



令和6年度青少年体験学習事業「おやこ科学教室」講座写真



令和6年度ふるさと教育講座実施一覧表（令和6年10月31日現在）

	実施日	開催場所	学習内容	講師	講話内容	参加者数
1	10月1日(火) 13:35~15:25	東朋中学校	大船渡市の産業	㈱バンザイ・ファクトリー 代表取締役 高橋 和良 氏	三陸椿物語 ～椿を使った製品開発 と雇用の創出～	108 人
2	11月12日(火) 13:35~14:35	大船渡中学校	〃	㈱スリーピークス 代表取締役 及川 武宏 氏	大船渡にワインという 彩りを～100年続く新 しい文化の創造～	—
3	12月5日(木) 14:35~15:35	第一中学校	〃	㈱バンザイ・ファクトリー 代表取締役 高橋 和良 氏	三陸椿物語 ～椿を使った製品開発 と雇用の創出～	—
4	12月9日(月) 14:40~15:30	末崎中学校	〃	漁師・NPO法人 wiz代表理事/CEO 中野 圭 氏	日本一楽しい漁業を 目指して	—

令和6年度ふるさと教育講座アンケート集計結果（令和6年10月31日現在）

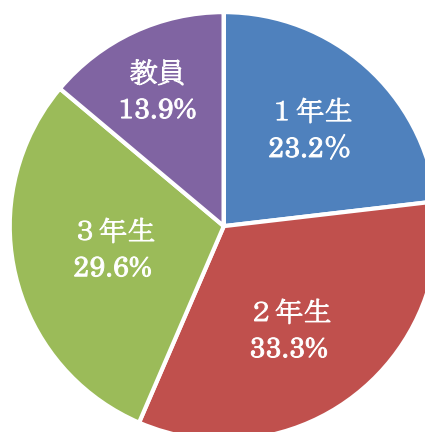
成果指標(全4回のうち1回の合計値)	目標	実績	達成率	○講座参加者数 108 人 ○アンケート回収数 108 通 (回収率 100%)
「ふるさと教育講座を受講して大変良かった・良かった」、「地元のことを深く知ることができた・知ることができた」と回答した生徒の割合	80.0%	96.3%	120.4%	
「自分の住む町や大船渡市の良いところを挙げることができる」、「大船渡市の良さを市外の人に説明することができる」と回答した生徒の割合	80.0%	54.6%	68.3%	

【総括】

- ・生徒から「大船渡（地元）の特徴や魅力について、知らないことがあり、知ることができてよかった」、「この地に誇りを持つ」といった自由意見が出ており、ふるさとの良さ、素晴らしさを認識することができたものとする。
- ・10月末日時点で1校のみの開催であるが、成果指標のうち、「自分の住む町や大船渡市の良いところを挙げることができる」、「大船渡市の良さを市外の人に説明することができる」いずれも「できる」と回答した参加者については、目標値の8割に至らなかった。これについては「大船渡市の良いところ」を認識できても、市外の人等にその良さを伝えるのはややハードルが高いためと推測される。
- ・今後も学校のニーズ等に添った学習機会を提供できるよう取り組んで参りたい。

Q 1. 参加者の学年等

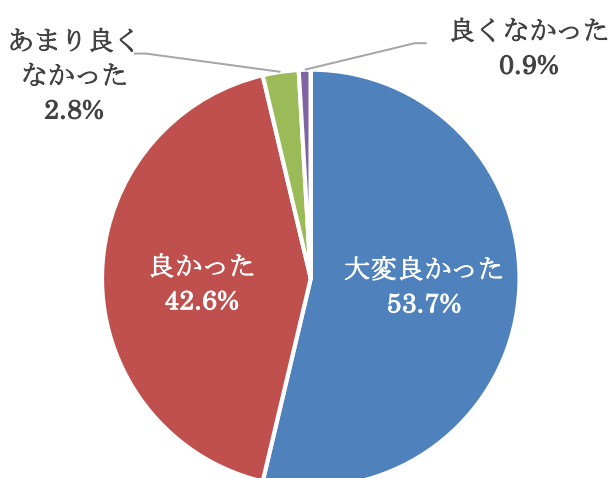
項目	人数	比率
中 1	25	23.2%
中 2	36	33.3%
中 3	32	29.6%
教員	15	13.9%
無回答	0	0.0%
計	108	100.0%



全学年及び教職員が参加した。

Q 2. 講座の感想

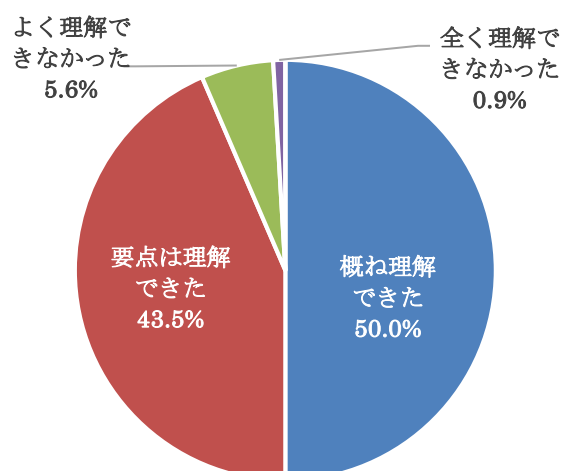
項目	人数	比率
大変良かった	58	53.7%
良かった	46	42.6%
あまり良くなかった	3	2.8%
良くなかった	1	0.9%
無回答	0	0.0%
計	108	100.0%



参加者の9割以上が「大変良かった」、「良かった」と回答しており、満足度が高い結果となった。来年度についても同様の成果が出せるよう学習内容を十分検討していきたい。

Q 3. 学習の理解度

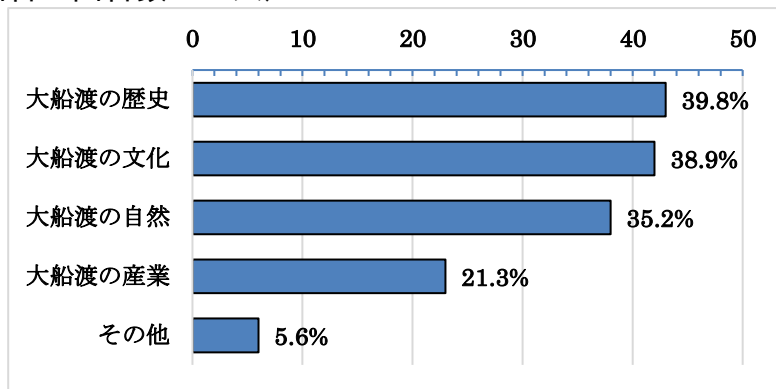
項目	人数	比率
概ね理解できた	54	50.0%
要点は理解できた	47	43.5%
よく理解できなかった	6	5.6%
全く理解できなかった	1	0.9%
無回答	0	0.0%
計	108	100.0%



「概ね理解できた」、「要点は理解できた」と回答した参加者の割合が全体の9割を超えたが、一方で、「よく理解できなかった」、「全く理解できなかった」と回答した参加者もいた。

Q 4. 希望する講座テーマ（複数回答・回答数 108 人）

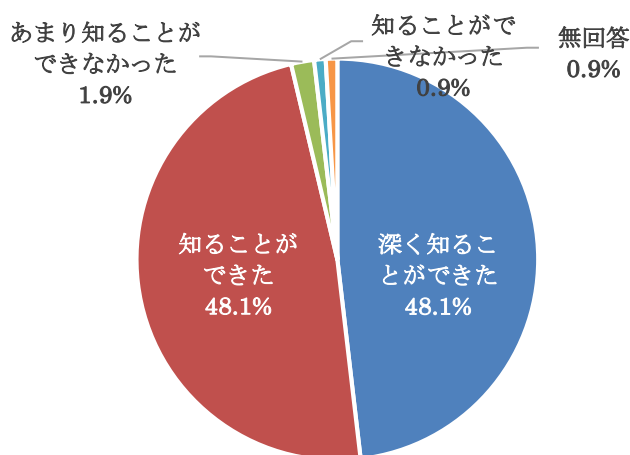
項目	人数	比率
大船渡の歴史	43	39.8%
大船渡の文化	42	38.9%
大船渡の自然	38	35.2%
大船渡の産業	23	21.3%
その他	6	5.6%
計	152	—



最も選択回答の数が多かった項目は「大船渡の歴史」となり、その次に「大船渡の文化」となったが、いずれの項目も比較的高い数値となっていることが伺える。（産業は今年度実施テーマだったことから、比較的数字が下がったものと推測される。）その他については、「大船渡市の今後」、「大船渡の有名人」等といった意見が寄せられた。

Q 5. 地元への理解度

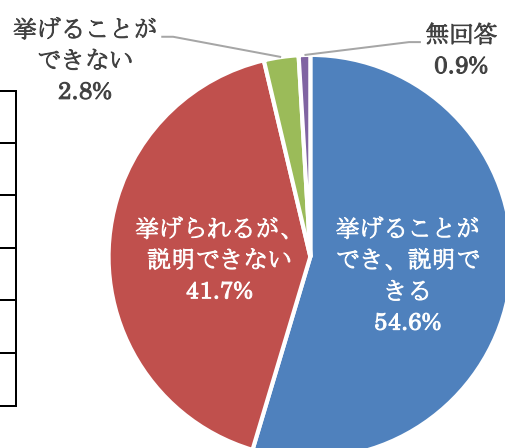
項目	人数	比率
深く知ることができた	52	48.1%
知ることができた	52	48.1%
あまり知ることができなかった	2	1.9%
知ることができなかった	1	0.9%
無回答	1	0.9%
計	108	100.0%



※小数点端数処理に伴い 100.0%にならない

Q 6. 大船渡市の良いところ

項目	人数	比率
挙げることができ、説明できる	59	54.6%
挙げられるが、説明できない	45	41.7%
挙げることができない	3	2.8%
無回答	1	0.9%
計	108	100.0%



成果指標の一つであるが、「大船渡市の良いところを挙げるができる」「市外の人に良さを説明できる」どちらもできると回答した参加者は 54.6%となった。過半数以上の参加者がどちらもできているが、現時点で目標値である 80%に到達していない。今後、目標値に到達できるようさらなる学習機会の提供を図る必要がある。

Q 7. 自由記載欄 抜粋

(1) 生徒

- ・ 椿茶ができるまでの苦労や大変さを知ることができた。大船渡の特徴や魅力について、知らないことがあり、知ることができてよかった。
- ・ 椿の花ことばが「誇りを持つ」とのことから、椿やその他の大切なものに誇りを持とうと思った。
- ・ 椿について、知ることができた。椿のように時間をかけ頑丈な体づくりと努力をし、小さな町大船渡が県外に対し、知名度が上がるような町づくりをしたいと思った。故郷である町や椿を大切にしていきたい。
- ・ 新たな魅力や起業家のカリスマ性のある生き方や考え方を感じた。「この地に誇りを持つ」ことが大事だと分かった。
- ・ 目標を作ること、努力することの大切さを知った。身近にあるものを新しい視点で見て、周りの人への伝え方を考え、広めていきたいと思った。
- ・ 大船渡の魅力から夢に向かってひたすら努力し、実現することのすばらしさを学ぶことができた。今後も目標に向かって努力し続けたい。
- ・ 「学ぶ」ということの大切さを教わった。めんどくさい、だるいというイメージで「学ぶ」への意識が低かったが、自分のため、未来のため、地域のために「学ぶ」のもいいと思った。
- ・ 個人的な話が多く、長かった。
- ・ 内容がよく分からなかった。

(2) 教員

- ・ 椿の話だけでなく、進路や困難に直面した時の考え方まで様々な話をしていただき、とてもいい講演だった。
- ・ 大船渡の誇るべき点、商品開発や事業に向かう姿勢、勉強の必要性など、多くの大事なことを話していただいた。

令和6年度ふるさと教育講座写真（東朋中学校）



○令和6年度スクールガード配置事業実施状況

各校の状況に応じ、次の①～③のとおり配置している。

- ① 引 率 型：盛小、大船渡小、末崎小、大船渡北小、綾里小、吉浜小
- ② 通学路巡回型：末崎小、赤崎小、猪川小、立根小、日頃市小
- ③ スクールバス添乗型：赤崎小

	配置校数	活動人数	活動日数	R6 合計活動時間	R5 合計活動時間
4月	10校	36人	1～18日	516時間00分	504時間15分
5月	10校	36人	3～21日	648時間15分	620時間00分
6月	10校	29人	1～20日	596時間45分	668時間30分
7月	10校	26人	2～18日	471時間00分	449時間00分
8月	10校	30人	1～10日	265時間30分	318時間00分
9月	10校	27人	3～19日	599時間00分	629時間30分
計				3,096時間30分	3,189時間15分

〔取組状況〕

- ・児童の登下校時の安全を確保するため、市内小学校10校にスクールガードを配置した。
- ・活動に当り、反射材入りベスト、車両用マグネットを貸与している。
- ・おおむね、前年度と同程度の活動実績になっている。

〔今後の取組〕

- ・10月から、新たに大船渡中でスクールガードを配置している。
- ・標記事業の状況を把握するため、スクールガード及びその配置校の保護者を対象としたアンケート調査を実施する。(令和7年1月予定)
- ※ スクールガードの認知度、継続について、登下校の安全が保たれているか等

○令和6年度学校支援事業実施状況

(1) 地域コーディネーター

小・中学校及び生涯学習課に配置している。

① 配置校

	配置校数	活動人数	活動日数	R6 合計活動時間	R5 合計活動時間
4月	12校	2人	1～3日	2時間45分	2時間45分
5月	12校	5人	1～4日	13時間45分	7時間15分
6月	12校	3人	1～7日	4時間45分	12時間30分
7月	13校	3人	1～2日	5時間00分	7時間00分
8月	13校	5人	1～8日	19時間15分	7時間00分
9月	13校	4人	1～4日	8時間15分	26時間45分
計				55時間45分	63時間15分

〔取組状況〕

- ・学校の授業（料理、ミシン、水生生物調査、畑作業、防災学習、町歩き等）に係るボランティアの募集。授業に向けて、ボランティア及び学校との打合せ。

- ・地域コーディネーター自身が、学校の総合学習において復興教育、地域おこし、昔遊び等の講師を務める。
- ・令和6年5月23日（木）に、地域コーディネーター交流会を開催した。
- ・前年度まで地域コーディネーターの配置がなかった大船渡中学校に、7月から新たに配置することができた。

〔今後の取組〕

- ・令和7年3月に、第2回地域コーディネーター交流会の開催を予定。

② 生涯学習課

	配置人数	活動人数	活動日数	R6 合計活動時間	R5 合計活動時間
4月	1人	0人	0日	0時間00分	3時間30分
5月	1人	1人	2日	2時間00分	0時間00分
6月	1人	0人	0日	0時間00分	6時間00分
7月	1人	0人	0日	0時間00分	0時間00分
8月	1人	0人	0日	0時間00分	0時間00分
9月	1人	0人	0日	0時間00分	0時間00分
計				2時間00分	9時間30分

〔取組状況〕

- ・図書支援活動地域ボランティア配置校における前期分の図書修繕用消耗品購入希望の取りまとめ及び消耗品の選定を行い、発注した。

〔今後の取組〕

- ・後期分の図書修繕用消耗品購入希望の取りまとめ及び消耗品の選定を行い、発注する。
- ・図書支援活動地域ボランティア研修会の内容の調整を行う。

(2) 地域ボランティア

図書支援活動、金管支援活動に係るボランティアを配置している。

① 図書支援活動地域ボランティア

	配置校数	活動人数	活動日数	R6 合計活動時間	R5 合計活動時間
4月	14校	12人	2～16日	292時間00分	237時間45分
5月	14校	14人	2～13日	353時間00分	259時間00分
6月	14校	16人	1～16日	360時間30分	306時間15分
7月	14校	16人	1～15日	331時間45分	274時間45分
8月	14校	16人	1～12日	293時間30分	213時間00分
9月	14校	15人	1～15日	314時間30分	311時間30分
計				1,945時間15分	1,602時間15分

② 金管支援活動地域ボランティア

	配置校数	活動人数	活動日数	R6 合計活動時間	R5 合計活動時間
4 月	1 校	1 人	1 日	0 時間 45 分	3 時間 00 分
5 月	1 校	2 人	5 日	7 時間 30 分	3 時間 00 分
6 月	1 校	2 人	4 日	6 時間 00 分	8 時間 15 分
7 月	1 校	2 人	4 日	6 時間 00 分	6 時間 00 分
8 月	1 校	2 人	2 日	2 時間 30 分	2 時間 15 分
9 月	1 校	2 人	4 ～ 5 日	6 時間 45 分	10 時間 30 分
計				29 時間 30 分	33 時間 00 分

〔取組状況〕

- ・ 図書の修繕や図書室の環境整備、金管クラブの指導を実施。
- ・ 同一のボランティアが複数の学校を掛け持ちすることで、各校に応じた支援や、経験年数の短いボランティアに対しフォローを行うなど、効率的な活動が行われている。

〔今後の取組〕

- ・ 図書支援活動地域ボランティア研修会を、11 月 27 日（水）に日頃市小学校で開催する。
 - ・ 研修会の受講者を対象にアンケート調査を実施する。
- ※ 研修内容の満足度、今後の活動に生かせるか等

令和 6 年度地域学校協働本部事業
 スクールガード、地域コーディネーター及び地域ボランティア配置状況一覧

【令和 6 年 10 月 31 日現在】

(単位: 人)

学校名	スクールガード		地 域 コー デ ィネーター		図書支援 ボランティア		金管指導 ボランティア		備考
	R 6	前年 度比	R 6	前年 度比	R 6	前年 度比	R 6	前年 度比	
盛小学校	4	-	1	-	2	1	2	-	SG 1 人謝金辞退 金管 B 2 人謝金辞退
大船渡小学校	4	-	1	-	2	-	0	-	
末崎小学校	1	△ 2	1	-	0	-	0	-	
赤崎小学校	2	-	1	-	2	-	0	-	
猪川小学校	1	-	1	1	4	-	0	-	
立根小学校	2	-	1	-	2	-	0	-	
日頃市小学校	3	-	1	-	2	-	0	-	
大船渡北小学校	4	△ 1	1	-	4	-	0	-	
綾里小学校	3	-	1	-	3	-	0	-	
越喜来小学校	0	-	1	-	2	-	0	-	
吉浜小学校	12	2	1	-	1	-	0	-	SG 4 人謝金辞退
第一中学校	0	-	0	-	3	△ 1	0	-	
大船渡中学校	3	-	1	1	4	-	0	-	
末崎中学校	0	-	0	-	3	-	0	-	
東朋中学校	0	-	1	-	2	-	0	-	
生涯学習課			1	-					
合 計	39	△ 1	14	2	36	-	2	-	

※ 地域コーディネーター及び図書支援活動地域ボランティアは、複数校掛け持ちの方もいるため、延べ人数となります。本来人数は次のとおり。

- ・ 地域コーディネーター登録人数：11 人
- ・ 図書支援活動ボランティア登録人数：16 人

※ 網掛けは、第 1 回会議からの変更点です。

令和6年度大船渡市地域学校協働本部事業「大船渡市学校支援事業」

地域コーディネーター交流会概要

1 目 的

大船渡市の地域学校協働本部事業実施にあたり、各校で活動している地域コーディネーターが、各校での取組や課題について情報共有することで、地域学校協働活動のより一層の充実を図る。

2 対 象 地域コーディネーター登録者

3 日 時 令和6年5月23日（木） 午後2時～3時15分

4 場 所 大船渡市役所 教育委員会会議室

5 内 容

(1) 開 会 (14:00～14:15)

生涯学習課長あいさつ、担当者紹介、自己紹介

(2) 交流会 (14:15～15:00)

「令和6年度にやってみたい活動や考えていること」についてグループワーク

※ 参加人数によりグループの人数を調整します

(3) 閉 会 (15:00～15:15)

質疑応答、アンケートの回答

6 持ち物

(1) 筆記用具

(2) 各学校での活動の資料や写真等（必要に応じてお持ちください）

7 申込み 5月17日（金）までに、参加申込書を下記申込先へ提出

8 問い合わせ・申込先

〒022-8501 大船渡市盛町字宇津野沢 15

大船渡市協働まちづくり部生涯学習課 生涯学習係 田中

TEL 0192-27-3111（内線 277）

FAX 0192-27-8878

E-mail 007232@city.ofunato.iwate.jp

令和6年度 第1回地域コーディネーター交流会 報告書（抜粋）

日時：令和6年5月23日（木）午後2時

場所：大船渡市役所 教育委員会会議室

1 参加者

地域コーディネーター 8人

沿岸南部教育事務所 1人

生涯学習課員 4人

2 趣 旨

大船渡市の地域学校協働本部事業実施にあたり、各校で活動している地域コーディネーター（以下、地域C）が、各校での取組・課題について情報共有することで、市内のネットワークの構築及び地域学校協働活動のより一層の充実を図る。

3 内 容

「令和6年度にやってみたい活動や考えていること」についてグループで話し合った後、グループごとに発表。発表後、フリートーク。

【グループ交流の内容について】

Aグループ

- ・学校運営協議会の際に、学校がどのような活動をもとめているのか要望を聞きたい。
- ・学校行事のタイミングに関わらず、校内敷地の環境整備を行うか検討中。
- ・保護者等の参加率を上げるために、参観日に合わせて防災訓練を行うのはどうか。

Bグループ

- ・街歩きを行いたい、安全面をどうするか検討中。
- ・稲作やじゃがいも収穫などの農業体験。
- ・昔遊びや金管バンド、地域の歌声サロンと交流をしてみたい。

【グループごとにフリートーク】※抜粋

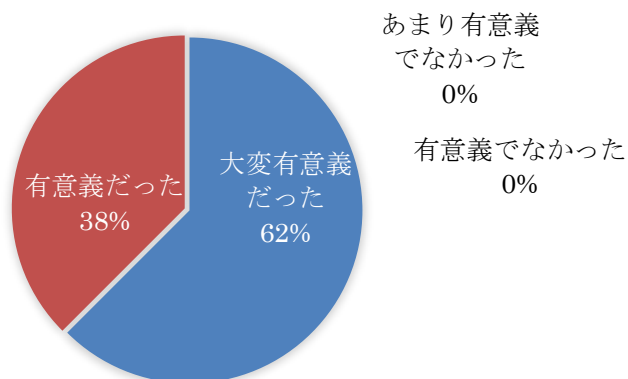
- ・町内に金管バンドがあり、現在3人の指導者がいるが、全員が70代。若い指導者を探している。
 - ・校外学習の一貫として、つばき学習を行っている。おおふなポートで作品を1カ月ほど展示した。
 - ・教員OBとしては、学校のニーズを把握するために副校長と相談するのがいいと思う。
 - ・書道・家庭科・図工の授業時に地域の方に補助してもらっている。昨年からは、サロンを開いて花壇作り、昔遊びをしている。
- 最近、参観日など学校行事の時に、早めに来たり、空き時間に来たりしていただいて、子供たちの遊び相手となるよう展開していきたい。
- ・防災訓練を行った。地域の方に10人ほど出席いただき、炊き出し訓練として子供たちにおにぎり作りの指導。その後、一般の避難者として中学校の防災訓練に参加した。

- ・コーディネーター1年目でどのようなことをすべきか不安だったが、アドバイスをいただいてありがたい。
- ・大工さんをお願いしての工作体験、郷土芸能、けん玉、竹とんぼ、ミシンなど予定している。
- ・4月の学校運営協議会では環境整備をすることとし、運動会前に草刈り作業を行った。地域の方5～6人と用務員で2日間に渡って作業。
- ・水生生物調査、空いているプランターに球根など植えている。2年生は街歩きを予定している。
- ・米作り体験をしている。

【交流会アンケート結果】

Q 1 交流会の感想とその理由

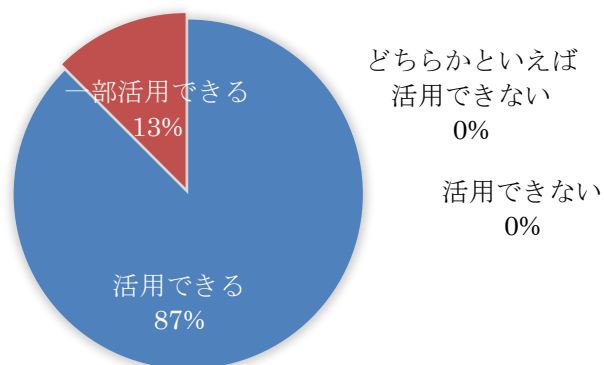
項目	人数	比率
大変有意義だった	5	62.5%
有意義だった	3	37.5%
あまり有意義でなかった	0	0.0%
有意義でなかった	0	0.0%
計	8	100.0%



- ・越喜来、吉浜、日頃市、盛小学校のコーディネーターの皆さんとのフリートークは、各々の地域の特性やコーディネーターの個性を生かした取り組みなど、自分の地域ではなくても共感出来るものが多かった。
- ・地域が取り組んでいるので、、それが理想だと感じた。
- ・コーディネーターという役割、自分にとっては荷が重いかなと感じて出席しましたが、和やかに意見交換出来てとても良かった。参考に活動できればと思う。
- ・他校の取り組み状況が良くわかった。フリートークが非常に良かった。今後も開催していただければありがたい。
- ・それぞれが思いを語れたのではないかな。他校の様子もよく分かった。
- ・各校の様々な活動を聞けて良かった。また、日々の活動の実践を聞けるとうれしい。
- ・実態の交流ができた。交流会は現状のまま続けて欲しい。
- ・初めての交流会で緊張しましたが、心強い先輩方のお話が聞け、大変参考になった。このような交流会を増やしていただき、見聞を広め勉強したい。

Q 2 交流会の内容は今後の活動に活用できそうか

項目	人数	比率
活用できる	7	87.5%
一部活用できる	1	12.5%
どちらかといえば活用できない	0	0.0%
活用できない	0	0.0%
計	8	100.0%



Q3 自由記載

- ・市の方から、各コーディネーターに聞きたい事があれば（会議の前に送付）会議時に準備した物での交流ができ、有意義になるのでは？
- ・正解は求めないで、、、やれる事をやるで良いと思う。
- ・市の方針、最終的なめざす姿やゴール、事業遂行の工程等、まだまだ未定着な事があるので、みんなで確認していきたい。
- ・我々コーディネーターには謝金が支払われているが、地域の方々は本当にボランティアとして協力してもらっており、少し心苦しい面もある。

4 実施状況写真



【交流会全体をとおして】

もともと学校と地域との密着度が強く、コーディネーターが自ら活動せずとも地域ぐるみで活動が行われていることから、責任を背負い込むようなことはない反面、申し訳なさを感じている方もいる。

学校の考えがあるという想いで、自分から企画して活動するべきか悩むという意見が一定数あったが、一方で、副校長などからの意見を積極的に聞きにいくと良いという意見もあった。

【アンケート結果から】

一人ひとりの想いや考えがしっかりとしているため、フリートークが充実していた。

各校の実施状況が分かったり、活動を実施する上での互いの悩みを話し合ったりすることで、課題解決の機会を得られ、より円滑な業務遂行の一助となったことが窺える。

今後も、定期的に地域Cの情報交流の場を設定することとする。

令和 6 年度大船渡市地域学校協働本部事業
図書支援活動地域ボランティア研修会開催要項

1 趣 旨

大船渡市の地域学校協働本部事業実施にあたり、図書支援活動地域ボランティアが専門知識を学ぶことにより、学校支援活動の充実を図る。

2 主 催 大船渡市

3 日 時 令和 6 年 11 月 27 日（水） 午前 9 時 00 分～11 時 00 分

4 場 所 大船渡市立日頃市小学校 図書室

5 対 象 者 図書支援活動地域ボランティア登録者、各学校図書担当教諭

6 日 程

9：00 受付開始

9：30 開会行事

9：35 講演及び実演

11：00 閉会

7 講演及び実演

(1) テーマ 「図書室はたのしい場所 ～地域ボランティアができること～」

(2) 内 容 ① 学校図書館の役割とは？

② みなさんのお悩み相談会

8 講 師 大船渡市立図書館 司書 中井 佳織 氏

9 持 ち 物

(1) 筆記用具

(2) 各学校の図書室の現状写真等（講師に質問がある場合）

10 申 込 み 11 月 18 日（月）までに、参加申込書を下記申込先へ提出。

11 問い合わせ・申込先

大船渡市協働まちづくり部生涯学習課 生涯学習係 田中

〒022-8501 大船渡市盛町字宇津野沢 15

TEL 0192-27-3111（内線 277） ファクス 0192-27-8878

E-mail 007232@city.ofunato.iwate.jp

大船渡市学校運営協議会の状況について

大船渡市教育委員会 教育研究所

1 大船渡市における学校運営協議会の現状

令和4年度より、市内小・中学校に学校運営協議会を設置し、地域学校協働活動を実施することで、地域と連携した学校づくりを目指している。

学校運営協議会委員は各校15人以内とし、令和6年度は10月末現在、全15校で183人が委嘱を受けている。

令和6年度は、各小中学校年2回以上協議会を開催すること、熟議を1回以上実施することを目標としている。

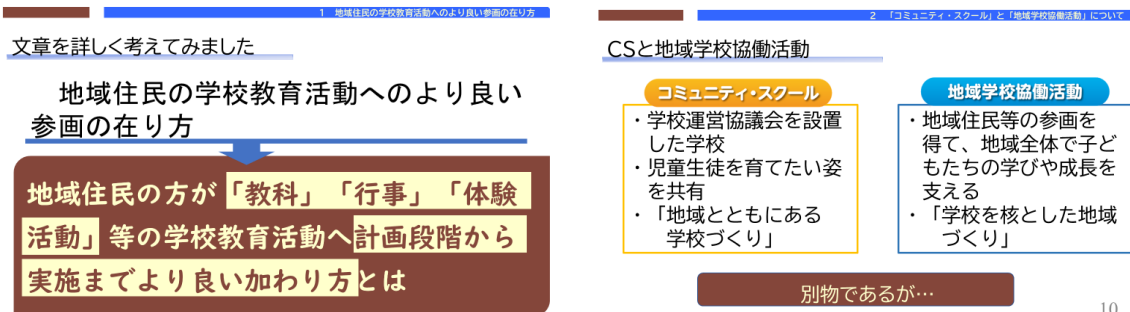
2 令和6年度の各学校における学校運営協議会の実施及び予定

学校名	学校運営協議会日程	熟議
盛小学校	1回目 6月12日（水） 2回目 10・11月予定	10・11月予定
大船渡小学校	1回目 5月1日（水） 2回目 6月28日（金） 3回目 11月27日（水）	6月「子どもたちに伝えたい地域の宝」
末崎小学校	1回目 6月25日（火） 2回目 11月22日（金）	6月「末崎の子どもたちに育てたい力」 「教育振興運動の取組について」
赤崎小学校	1回目 5月13日（月） 2回目 9月10日（火） 3回目 1月中旬予定	9月「まなびフェストから見える学校課題とその改善に向けた取組について」※
猪川小学校	1回目 5月10日（金） 2回目 10月15日（火） 3回目 2月17日（月）予定	10月予定
立根小学校	1回目 5月16日（木） 2回目 11月予定 3回目 2月予定	未定
日頃市小学校	1回目 5月1日（水） 2回目 9月10日（火） 3回目 2月19日（水）予定	9月「家庭・地域での挨拶や会話について」 2月予定
大船渡北小学校	1回目 5月14日（火） 2回目 8月30日（金） 3回目 11月22日（金）予定	8月「学校教育活動における地域人材の活用について」※
綾里小学校	1回目 4月17日（水） 2回目 9月10日（火）	9月「防災教育について」
越喜来小学校	1回目 5月10日（金） 2回目 9月30日（月） 3回目 2月予定	未定
吉浜小学校	1回目 5月1日（水） 2回目 2月予定	2月予定
第一中学校	1回目 6月6日（木） 2回目 3学期予定	未定
大船渡中学校	1回目 6月27日（木） 2回目 2学期予定	未定
末崎中学校	1回目 7月5日（金） 2回目 2学期予定	未定
東朋中学校	1回目 6月13日（木）※ 2回目 12月予定	未定

3 学校運営協議会の内容例

(1) 研修会（東朋中学校）

地域住民の学校教育活動へのより良い参画の在り方、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について、沿岸南部教育事務所佐々木済通主任社会教育主事から下図のような資料をもとに説明を受けて、理解を深めた。



10



15

(2) 熟議

ア 「学校教育活動における地域人材の活用について」（大船渡北小学校）

学校が提示した下表をもとに、まずは学校運営協議会委員が協力できるところについて話し合いを行い、方向性を確認した。

学校教育活動における地域人材の活用について

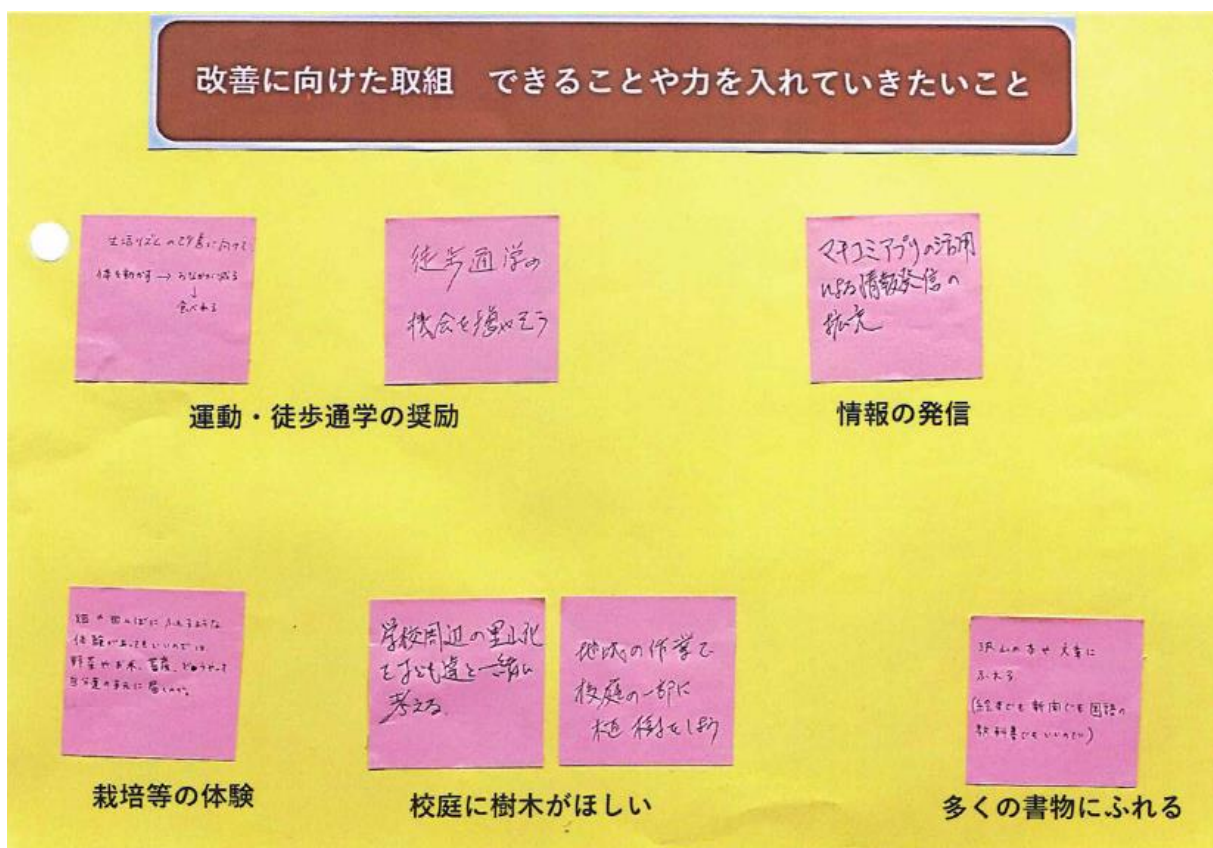
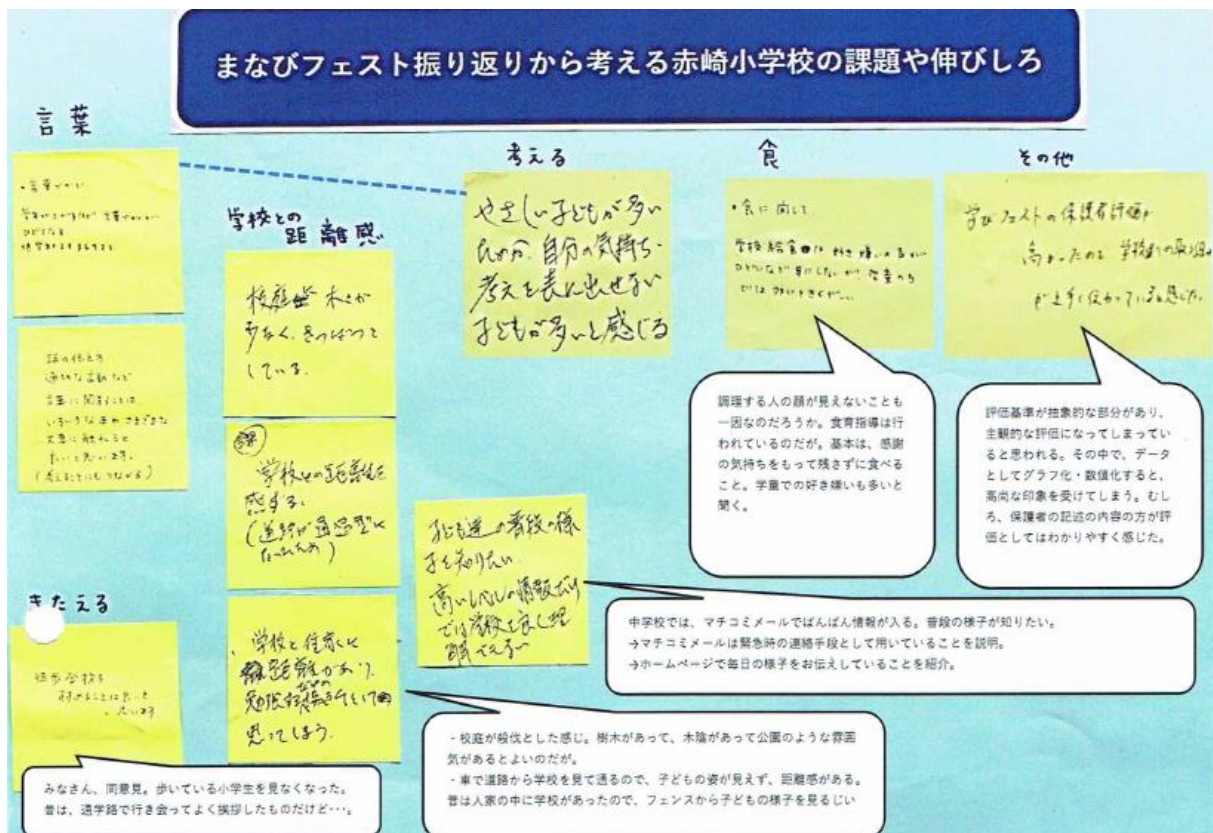
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
9月					家庭科 ○裁縫・ミシン学習での個別対応の補助	
10月		生活科 「町探検」「公園へ行こう」 ○一緒に歩いてほしい（安全の確保）			家庭科 ○裁縫・ミシン学習での個別対応の補助 図工 ○糸のこ学習の見守り	
11月		生活科 「町探検」「公園へ行こう」 ○一緒に歩いてほしい（安全の確保）	社会科 ○警察署・消防署の見学の際の見守り		図工 ○糸のこ学習の見守り	家庭科 ○ミシン学習での個別対応の補助
12月			社会科 ○警察署・消防署の見学の際の見守り			
1月				総合的な学習の時間 「防災力をパワーアップ！」 ○消防団の方や震災を経験した方から話を聞きたい		
2月	生活科 ○昔遊び（券玉、こま回し、お手玉、竹とんぼ、あやとり、おはじき、竹馬、カルタ、めんこ等）を教えてほしい		総合的な学習の時間 ○赤澤鍾剣舞のシカ作り	総合的な学習の時間 「防災力をパワーアップ！」 ○消防団の方や震災を経験した方から話を聞きたい		
3月						

【備考】
○9月…学習発表会の背景画、小物づくり等（希望する学年）

(2) 熟議 「学校教育活動における地域人材の活用について」

イ「まなびフェストから見える学校課題とその改善に向けた取組について」（赤崎小学校）

自校の「まなびフェスト」について振り返りを行った後、「まなびフェストから見える学校課題とその改善に向けた取組について」をテーマに付箋を用いながら、下図のように熟議した。



4 地域協働活動の例

(1) 川原鎧剣舞指導（立根小学校）

5・6年総合的な学習の時間において、川原鎧剣舞保存会の方々に来校し指導していただき、特に児童の技術面・表現力を磨き、運動会で保護者や地域住民、保存会の方々に身に付けた力を披露した。



(2) 昔遊び体験（日頃市小学校）

1年生生活科において、地域住民のボランティアの方々にお世話いただきながら、祖父母も参加して昔遊び体験を行った。

